



つなぐ「奉仕の心」これからも

2024年向陽高等学校創立100周年



学校法人向陽学園

歴史編集室発行

TEL0957(52)3210

2024年へ向けて「後期開始」!

明るい挨拶で頑張ろう!



10月3日、令和4年度の「後期始業式」が体育館で実施されました。まだコロナ感染終息の見えない生活ですが、学校行事の向陽祭始め各科実習、部活動では新人戦等大会が予定されています。そんな中、3年生は進路実現、1・2年生は各種資格取得に向けて全力でチャレンジして欲しいと思います。



いま「高校」では!

おめでとう!

ダンス部

「長崎県知事杯」第3位

10月2日、諫早文化会館で開催された「令和4年度長崎県知事杯高校生ダンス部選手権」において見事3位になりました。



「芸術鑑賞会」

9月26日(月)諫早文化会館にて、芸術鑑賞会を実施しました。東京演劇集団「風」の『ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち～』を鑑賞しました。「初めて本格的な舞台での演劇を鑑賞して感動しました。」との感想が寄せられました。



「大村市長を表敬訪問」

エステティック科の生徒3名が、大村市民のために尽力いただいている市役所の皆様に、日頃の疲れを癒して欲しいと思い向陽高校「オリジナル入浴化粧品」を贈呈しました。



オリジナル入浴化粧品は、エステティック科生徒が、アロマの配合量、長崎県産の材料、パッケージデザインなどすべてにこだわって開発しました。

「エステティック科検定に全員合格」

エステティック科2年生が、一般社団法人JMA「メイクアップ技術検定3級」「パーソナルカラーリスト検定3級」に挑戦し全員が合格しました。次は2級に挑戦です。



「日本料理食事作法講習会」

調理科1年生が会席料理を食しながら、箸の持ち上げ方や蓋の置き方、食べ方などの食事作法を学びました。講習会の始めには調理科の卒業生から激励のことばが、また、講習会の最後には料理長様からの貴重なお話もあり、生徒たちは真剣に聞いていました。



「好き」を未来の「しごと」に!
ざっとここがスタート地点!



「たちばなのいい香り」

受け継がれる「奉仕の精神」

調理科1年M.Hさんは、道端でうずくまっていた少女を見て救急車を呼び、その間優しく介護したそうです。

福祉科1年R.Nさん、A.Iさんは、JRで下車駅を乗り越して困っていた少女に、目的地への切符代を渡し少女は無事着いたそうです。

※いずれも、後日保護者や関係者の方から学園に連絡があり、感謝の気持ちを伝えられたそうです。



いま「学園」では! こうようようちえん

「明るく なかよく 元気よく」

運動会(野岳湖グラウンド)9月23日

~かがやこう!一人ひとりが主役だぞ!!~



【看護専攻科】

たしかな学びで心豊かな看護の道を



専攻科2年生は、看護過程の展開について事例検討カンファレンスを開きました。今回は、看護科3年生を交えて5年一貫教育の特徴を活かし看護科生徒の良きモデルになったと思います。



「学内実習」より



長崎リハビリテーション学院

第7回オープンキャンパスでは、リハビリ専門職である言語聴覚士・作業療法士・理学療法士の仕事内容について、劇形式でお伝えしました。

ご来場ありがとうございました。



誰かの「生きる」をささえるひとになる



<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて

10月25日 慰霊の心を

「諸先輩の尊い命の犠牲の上に今がある」

向陽高校の前身である「大村女子職業学校」の生徒が学徒動員で作業中、昭和19年10月25日の大村大空襲で若き命を失いました。

私達は、学園が2024年100周年を迎えるにあたり、15、16歳で亡くなられた諸先輩方の尊い命の犠牲の上に今があることを忘れてはいけません。



昭和一九年一〇月二五日、大村の第二一海軍航空廠(しょう・飛行機の製造修理場)が米空軍の爆撃をうけ、東洋一を誇った広大な施設が一時間余で壊滅的に破壊された。この時三〇余名の戦死者が出た。当時学徒動員とか、挺身隊とかいって、大村女子職業学校(向陽の前身)ほか大村、諫早、島原など県内および県外の学校が慰霊塔公園で行われ、各校の同窓生も県内県外から参列しておられる。わが向陽の歴史にも、さまざまな激動の時期があった、同窓の尊い血潮が流されたことを忘れぬようにとペンをとった次第である。



“太平洋戦争と向陽学園”

— 四人の御霊・安らかに —

向陽学園常任理事 宮川 龍 光

昭和60年2月向陽学園ニュース第2号より

向陽ミュージアム 風に向かって「来館者」メッセージ5

昭和54年「向陽高等学校」被服科卒業 D.K様



本当に懐かしい思い出がたくさんあり、校舎、樹々など見ていたら、ひとつひとつが頭の中に色んな風景が浮かび、タイムスリップした様な気持ちになりました。今日は本当に来られて良かったです。

高校生活の中で思い出すのは、部活や先生方との触れ合いで、友達みたいに優しく接して下さったことなどです。そんな思い出の一つに、職員室で先生と私達3人が楽しく話をしていたら、教頭先生から「その3人出ていきなさい」と注意された事(笑)がありました。それも楽しい学園生活の思い出でした。

福島先生に3年間お世話になりました。皆クラス全員先生の事を「お母さん」と呼んでいました。ありがとうございました。来て良かったです。



昭和53年度 卒業アルバムより (福島先生の被服科授業)